21世紀へ飛躍、発展の年

60年度

教育施設の充実 同和対策事業 を重点

3月定例市議会

行革推進本部を設置

民間の意見も入れる

六十年度の市政の方向を決める三月定例市議会は三月十一日に開会、二十五日までの十五日間の日程で開かれました。小笠原市長は新年度当初予算及び各議案の提案理由の説明に先だち、行政運営について次のように『施政方針』を述べました。

施政方針（要旨）

南国市も発足以来およそ四半世紀を歩んできました。行政も「青年期」から脱皮し、飛躍、発展に向けて力強い第一歩を踏み出す大事な年です。こんにちの厳しい事態を乗り切り、市民の要望にこたえるためには、思い切った行財政改革に取り組まなければならないと考えています。

■行政改革

六十年度は、南国市が二十一世紀に向けて飛躍、発展の第一歩を踏み出す年であり、今こそあらゆる障害を乗り越えて行政改革を断行すべく固く決意しています。そのため現在、庁内組織として行財政事務改善委員会を設置し、研究調査を行ってきました。新年度からは市長を本部長とする全庁的な「行政改革推進本部」に改め、また、行政に関係する者を除いた民間有識者による委員会を設置し官・民の総力を結集して取り組む考えです。

■総合計画

昨年十月から市振興計画審議会で十回にわたる審議を終了し、答申趣旨に基づき修正、添削、加筆中です。それが済みしだい印刷、製本をし、できるだけ早い機会に議会の承認を得たいと考えます。

■財政

五十九年度の開発公社への支払いを、約一億一千万円追加計上することができ、累計は一億五千万円近くになっています。

六十年度一般会計予算は、高率補助金の削減による影響が大きくまた、税収についても地方財政計画による伸び率は見込まれない状況です。一方、人件費、公債費などの義務的経費が増加するなど、財政硬直化は一層進んでいます。

そのため、開発公社への支払いを五千万円にするなどの緊急措置によって予算を編成しました。内容については、教育施設の充実と同和対策事業に重点を置きました。

■市民生活の安全

南国市では、今のところ憂慮すべき事態には立ち至っていませんが、警察当局との連携を密にし、また暴力追放の市民運動を一層盛り上げ、無法集団の壊滅と事件の防止に取り組み、市民生活の安全確保に努めたいと思います。

■教育

六十年度は、老朽化と児童数の増加により狭あいとなった大篠小屋内運動場のほか、十市小屋内運動場、航空機騒音対策として大篠小校舎及び大湊小校舎の防音工事を実施することにしています。また、社会教育施設は久礼田へ体育館（公民館兼用）の建設を予定しています。今年は国際青年年です。それにふさわしい事業についてはその趣旨を生かすべく今後検討します。

■同和対策

小集落地区改良事業を中心に地域の環境整備を進めてきましたがこの事業を法の期限内に完了するために、住民各位のご協力を得ながらさらに努力します。また、今後は同和教育や経済基盤の確立にも力点を置き、同和対策事業全般の進展を図る考えです。

■産業振興

六十年度は水田再編対策事業の推進、他用途米の確保、転作安定事業による農道、水路の改修、一・五次産業の推進等を計画しています。林業については、新林業構造改善事業を導入し、中山間地域の活性化を図るべく計画を進めています。第二次産業の振興策としては、優良企業の誘致を促進し、本市産業の活性化を図る所存です。また、郷土産品の掘り起こしや伝統産業の育成など再検討したいと考えています。

■し尿処理

文化都市を目指す南国市にとって、し尿処理場の建設は市政における重要課題の一つです。設置場所は数ヵ所について折衝してきましたが決定するにいたっていません。建設には多額の事業費となりますので慎重の上にも慎重を重ね最良の方法について検討しています。なお、若干の時間をいただきたいと存じます。

比江山の企業誘致 具体的に

一般質問

三月定例市議会での一般質問は、十四、十五、十八日の三日間、高島、小沢、岡林、筧、井口、松木、今井、竹内、北村、島崎、堀川の各議員が、市長の政治姿勢や行財政問題などについて、執行部の考えをただしました。執行部の主な答弁は次の通りです。

◪財政再建については、どこをどのように抑えなければならないのかほぼ見当がついているので、後は実行あるのみだ。行政改革と財政再建は密接不離の関係にある。特に地方自治体では民生費、人件費、機構の問題が一つになって大きな赤字の原因になっている。行財政事務改善委員会の報告などにより、やるべきことが明確になってきた。

◪行政改革は、国からの地方行革大綱にのっとって南国市に合ったものを実行したい。そのために行財政事務改善委員会を行革推進本部に改める。新しく委員会をつくることは原則的には賛成ではないが、この非常事態を乗り切るため行政改革審議会を設置し、外部の有識者や事業経験者らの意見を入れて給与、機構の在り方などについて意見をいただく必要がある。具体的な構想はこれからだが、ぜひ実行に移させていただきたい。

◪職員の人件費は県下的にもいい給料が出されている。いい給料で少数の人たちで能率を上げることは好ましいことだが、給料が急ピッチに上がって市民から非難を受けないようにすることが必要だ。

◪管理職へ女性職員を数人登用して成績が上がっている。今後、積極的に検討したい。

◪支所は基本的には廃止したい考えだ。支所の事務は取り扱い件数も少なくロスがあると思う。地域住民との話し合い、理解が必要なので努力する。

◪総合計画は昨年九月に素案ができ、内容について振興計画審議会で十回にわたり審議を繰り返し、百五十項目の意見が出た。今年、四月始めまでに修正を終え、四月末までには印刷、製本したい。

◪比江山への企業誘致は、三月末の開発許可を待たなければならないが、具体的な折衝に入ることができた。今、土地の鑑定評価をしてもらっており、計画は進んでいる。なるべく早く本格的な着工になるよう努力する。

◪し尿処理場の建設については、市内の候補地を当たっているが、広域行政で取り組んではどうかとの話もあり検討している。

◪舟入川の不法投棄について高知市大津地区の住民から強い抗議と要請があり、三月の川干のときに地域住民約八十人が参加して清掃した。この運動は引き続き積極的に取り組んでいく。また、六月の環境週間には河川の美化を重点に、一般家庭の雑排水の出し方についても市民の方々に呼びかけたい。

企業誘致が具体的になってきた比江山

◪木造校舎については、順次整備を図っているところだ。本造の老朽校舎としての指定を受けている学校は奈路小、後免野田小、久礼田小、岡豊小、長岡小、日章小となっている。早期に改築したいが体育館、プール、中学校の生徒増による増築の問題等も絡み、厳しい財政で困難を伴っている。老朽の程度などを総合的に検討して順次改築したい。

◪公民館についても改築を必要とするものが多いので、できれば年一館ということで取り組んでいる。六十年度は久礼田公民館、六十一年度は西部公民館を計画している。

◪体育館を文化事業などにも使用しており、スポーツ愛好者に迷惑をかけているが現在、文化施設がないのでしばらくの辛抱を願いたい。六十年度に大篠小体育館を建築の予定なので、完成すれば社会体育にも開放することを考えている。

◪国際青年年への効果的な事業推進については教育委員会で検討している。国、県の事業との関連も考えながら有意義なものにしたい。この事業は青年自身の盛り上がり、自覚が大切ではないかと思うので、青年たちの意識の掘り起こしをしながら、また、市民各層の意見も聞いて四月早々に準備委員会を開き具体的な事業を考えたい。

◪岡豊山に建設する歴史民俗資料館については、用地取得で係争中の問題も解決して、県は昨年末に登記を完了したと聞いている。現在、展示構想、周辺整備構想を検討しており、建築は六十一年度以降になろうかと予想されるが、厳しい財政事情も絡み明確な見通しが示されていない。今後、県に対し積極的に働きかけていく。

◪空港周辺の遊休地の利用については、払い下げや借地等は最近難しくなっており、簡単に無料貸与されるとは思われないが、空港運営の円滑化、周辺住民の協力、親ぼくという意味において可能性があると思う。ぜひ市のスポーツ振興に役立たせたいと願っている。

◪市立のゲーボール場は五十九年度に明見に県住宅供給公社の一部を借り受け四面造った。今後も用地の確保ができれば取り組む。夜間照明の設置は経費がかかるので、今後研究させてほしい。

◪公立保育所での乳児保育については、現保育所の施設、構造、人員などを考えると現実では困難だが、その重要性はよく承知している。民間の共同保育所コスモスへの援助は協議、検討する。